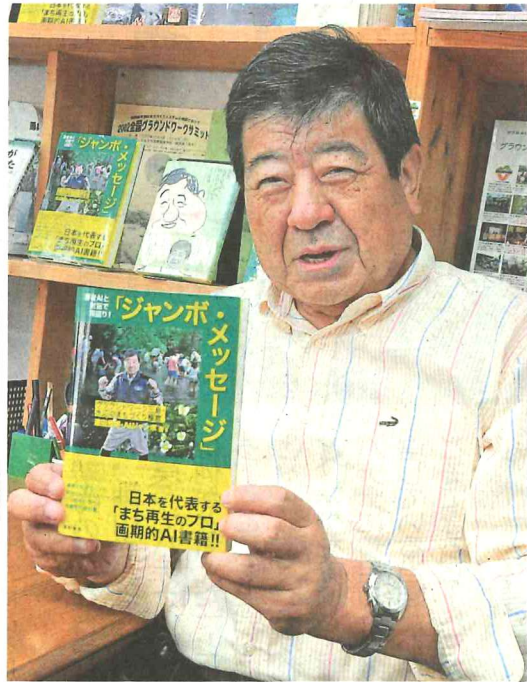


知恵、経験基に分身AI

GW三島渡辺さん 書籍付属機能 疑問、悩みに答え



AI機能を付けた新刊と
渡辺さん＝三島市内

三島市のNPO法人グラウンドワーク
(GW)三島専務理事の渡辺豊博さん
(75)が、1千万字相当の膨大な書籍や講演録を読み込ませ、自身の分身のような人工知能(AI)を作り上げた。このほど出版した書籍「ジャンボ・メッセージ」グラウンドワーク三島・水辺のまちづくり極意(泉町書房)に付属機能として盛り込んだ。

(伊豆日日新聞 勝田航平)

AIは渡辺さんの愛称を基に「AIジャンボ」と名付けた。30年以上にわたり市民活動や環境保全で活動してきた渡辺さんの知恵と経験を基に、利用者の疑問や悩みへ答えを返してくれる。組織づくりや河川整備、行政との付き合い方のほか、恋愛や夫婦関係の相談にも対応する。

AIの作成には、データ解析会社のアイズファクトリーが協力した。渡辺さんは「一本は

読むだけだが、AIなら著者と直接やりとりできる。応答は無限大に近い」と述べ、市民活動団体のマニュアル本としての利用も見込むという。

AIの使い方は書籍内で説明している。書籍はこれまでの活動をメッセージとして伝える内容で、価格は2500円(税別)。AI利用料は月額2千円(税別)で、10回までの質問は無料。